

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 山梨県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	北病院	3
甲府市	甲府病院	4
富士吉田市	国保市立病院	5
都留市	都留市立病院	6
山梨市	牧丘病院	7
大月市	中央病院	8
韮崎市	国保市立病院	9
北杜市	塩川病院	10
北杜市	甲陽病院	11
上野原市	上野原市立病院	12
甲州市	勝沼病院	13
身延町早川町国民健康保険病院一部組合	飯富病院	14
峡南医療センター企業団	市川三郷病院	15
峡南医療センター企業団	富士川病院	16

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名			
病院名	中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	809,974	
決算規模(千円)	566,717,376	
標準財政規模(千円)	264,211,314	
財政力指数	0.40857	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	204.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名					
病院名		北病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	809,974	
決算規模(千円)	566,717,376	
標準財政規模(千円)	264,211,314	
財政力指数	0.40857	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	204.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	104.8
材料費	-	-	25.3	8.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	1.3
減価償却費	-	-	9.5	13.5
経費	-	-	22.7	33.3
(うち委託料)	-	-	12.6	18.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	2.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		101.9	101.4
医業収支比率	-		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	-		89.3	66.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	甲府市				
病院名	甲府病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,066 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が感災輪		
許可公営企業	許可	看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	402	59.8	71.9	72.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	11.6	3.3	-
計	408	59.1	70.9	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	12.7	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	189,591	
決算規模(千円)	96,183,075	
標準財政規模(千円)	44,194,082	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	58.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.0
修正医業収益(千円)	6,995,558

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,867,459			
1 経常収益	8,866,067			
(1) 医業収益	7,332,248			
入院収益	4,551,851			
外来収益	2,179,805			
診療収入計	6,731,656			
その他医業収益	600,592			
(うち他会計負担金)	336,690			
(2) 医業外収益	1,533,819			
(うち国・都道府県補助金)	709,885			
(うち他会計補助・負担金)	744,714			
(うち長期前受金戻入)	16,670			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,392			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,955,061			
2 経常費用	8,955,061			
(1) 医業費用	8,426,135			
職員給与費	4,423,210	60.3	62.1	59.8
材料費	1,617,042	22.1	25.3	27.7
(うち薬品費)	802,642	10.9	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	814,400	11.1	11.4	12.4
減価償却費	382,235	5.2	9.5	8.2
経費	1,963,199	26.8	22.7	19.2
(うち委託料)	1,025,935	14.0	12.6	10.2
研究研修費	13,371			
資産減耗費	27,078			
(2) 医業外費用	528,926			
(うち支払利息)	136,512	1.9	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-88,994			
純損益	-87,602			
累積欠損金	13,302,075			
経常収支比率	99.0		101.9	103.7
医業収支比率	87.0		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.2		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	12.2		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	86.9		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,659,117
1 固定資産	10,460,712
(1) 有形固定資産	10,432,678
(2) 無形固定資産	2,273
(3) 投資その他の資産	25,761
2 流動資産	2,198,405
(1) 現金及び預金	337,393
(2) 未収金及び未収収益	1,753,221
(3) 貸倒引当金()	5,801
(4) 貯蔵品	113,592
3 繰延資産	-
負債合計	10,688,937
1 固定負債	6,508,626
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,197,626
(2) その他の企業債	411,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	900,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,677,233
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	893,675
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	319,448
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,700,000
(8) 未払金及び未払費用	721,771
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	503,078
(1) 長期前受金	1,022,788
(2) 長期前受金収益化累計額()	519,710
資本合計	1,970,180
1 資本金	15,170,825
2 剰余金	-13,200,645
(1) 資本金剰余金	101,430
(2) 利益剰余金	-13,302,075
負債・資本合計	12,659,117
不良債務	585,153
実質資金不足額	585,153
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,081,404	1,081,404
資本勘定繰入	605,758	938,597
計	1,687,162	2,020,001

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	585,153	8.0
令和元年度	1,297,055	16.1
平成30年度	1,319,625	16.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	181.4
健全化法上の資金不足額(千円)	585,153
健全化法上の資金不足比率(%)	7.9
地財法上の資金不足額(千円)	996,153
地財法上の資金不足比率(%)	13.5

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	富士吉田市				
病院名	国保市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Iガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,358 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救が感災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	256	66.5	82.4	80.7
療養	50	39.9	27.4	37.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	60.5	0.5	-
計	310	62.1	72.5	72.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	11.8	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	46,530	
決算規模(千円)	33,247,991	
標準財政規模(千円)	11,039,041	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	82.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	22.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.1
修正医業収益(千円)	6,208,633

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,917,578			
1 経常収益	7,788,864			
(1) 医業収益	6,321,959			
入院収益	3,822,953			
外来収益	2,068,744			
診療収入計	5,891,697			
その他医業収益	430,262			
(うち他会計負担金)	113,326			
(2) 医業外収益	1,466,905			
(うち国・都道府県補助金)	603,055			
(うち他会計補助・負担金)	577,747			
(うち長期前受金戻入)	237,578			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	128,714			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,064,791			
2 経常費用	8,064,791			
(1) 医業費用	7,657,211			
職員給与費	4,231,661	66.9	62.1	63.5
材料費	1,494,082	23.6	25.3	24.9
(うち薬品費)	763,421	12.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	726,136	11.5	11.4	11.8
減価償却費	476,228	7.5	9.5	10.0
経費	1,428,398	22.6	22.7	21.7
(うち委託料)	882,273	14.0	12.6	12.2
研究研修費	17,389			
資産減耗費	9,453			
(2) 医業外費用	407,580			
(うち支払利息)	64,610	1.0	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-275,927			
純損益	-147,213			
累積欠損金	1,000,242			
経常収支比率	96.6		101.9	101.7
医業収支比率	82.6		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	8.7		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	88.0		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,904,244
1 固定資産	7,239,413
(1) 有形固定資産	7,236,649
(2) 無形固定資産	2,764
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,664,831
(1) 現金及び預金	1,184,323
(2) 未収金及び未収収益	1,396,005
(3) 貸倒引当金()	12,734
(4) 貯蔵品	97,237
3 繰延資産	-
負債合計	7,711,230
1 固定負債	4,209,689
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,039,607
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,123,601
(7) リース債務	46,481
2 流動負債	1,085,958
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	285,830
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	232,902
(6) リース債務	79,778
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	475,072
(9) 前受金及び前受収益	12,376
3 繰延収益	2,415,583
(1) 長期前受金	10,003,015
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,587,432
資本合計	2,193,014
1 資本金	3,148,272
2 剰余金	-955,258
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-955,258
負債・資本合計	9,904,244
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	899,169	691,073
資本勘定繰入	186,965	186,965
計	1,086,134	878,038

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	都留市				
病院名	都留市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,359 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	140	55.5	56.9	53.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	55.5	56.9	53.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	11.9	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	31,016	
決算規模(千円)	19,089,260	
標準財政規模(千円)	9,355,821	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	89.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	4.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.6
修正医業収益(千円)	2,223,231

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,342,889			
1 経常収益	3,342,889			
(1) 医業収益	2,249,679			
入院収益	1,225,335			
外来収益	922,819			
診療収入計	2,148,154			
その他医業収益	101,525			
(うち他会計負担金)	26,448			
(2) 医業外収益	1,093,210			
(うち国・都道府県補助金)	147,347			
(うち他会計補助・負担金)	427,081			
(うち長期前受金戻入)	70,587			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,482,434			
2 経常費用	3,482,414			
(1) 医業費用	2,865,341			
職員給与費	1,642,936	73.0	62.1	67.4
材料費	418,876	18.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	146,875	6.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	253,014	11.2	11.4	8.8
減価償却費	291,156	12.9	9.5	10.7
経費	503,572	22.4	22.7	29.2
(うち委託料)	304,227	13.5	12.6	13.9
研究研修費	2,535			
資産減耗費	6,266			
(2) 医業外費用	617,073			
(うち支払利息)	6,279	0.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	20			
損益				
経常損益	-139,525			
純損益	-139,545			
累積欠損金	815,440			
経常収支比率	96.0		101.9	100.3
医業収支比率	78.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	13.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	20.2		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	13.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	83.0		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,758,425
1 固定資産	3,850,453
(1) 有形固定資産	3,823,605
(2) 無形固定資産	26,848
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	907,972
(1) 現金及び預金	248,343
(2) 未収金及び未収収益	576,474
(3) 貸倒引当金()	6,165
(4) 貯蔵品	89,320
3 繰延資産	-
負債合計	3,355,456
1 固定負債	1,671,410
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,013,035
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	658,375
(7) リース債務	-
2 流動負債	783,276
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	202,571
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	124,014
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	456,691
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	900,770
(1) 長期前受金	2,542,536
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,641,766
資本合計	1,402,969
1 資本金	1,415,724
2 剰余金	-12,755
(1) 資本剰余金	367,613
(2) 利益剰余金	-380,368
負債・資本合計	4,758,425
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	441,883	453,529
資本勘定繰入	78,247	78,247
計	520,130	531,776

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	36.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	山梨市		
病院名	牧丘病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	1,458 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	50.6	57.2	58.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	50.6	57.2	58.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	16.5	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	33,435	
決算規模(千円)	23,363,561	
標準財政規模(千円)	10,589,751	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	87.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,410			
1 経常収益	19,410			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	19,410			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	19,014			
(うち長期前受金戻入)	396			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,014			
2 経常費用	19,014			
(1) 医業費用	4,003			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	4,003	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	15,011			
(うち支払利息)	11	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	396			
純損益	396			
累積欠損金	36,533			
経常収支比率	102.1		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	98.0		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	98.0		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	2.1		89.3	64.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	425,706
1 固定資産	397,273
(1) 有形固定資産	397,273
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	28,433
(1) 現金及び預金	28,433
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,821
1 固定負債	800
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	800
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	160
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,861
(1) 長期前受金	4,373
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,512
資本合計	421,885
1 資本金	458,418
2 剰余金	-36,533
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-36,533
負債・資本合計	425,706
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,008	19,014
資本勘定繰入	80	80
計	4,088	19,094

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	大月市		
病院名	中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	43.2
療養	-	-	-	42.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	42.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	22,512	
決算規模(千円)	15,993,578	
標準財政規模(千円)	8,012,737	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	85.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.3
	将来負担比率(%)	104.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	-	-	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	-		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	韮崎市				
病院名	国保市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	10,272 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救災輸		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	137	62.2	71.5	72.0
療養	34	71.0	78.8	81.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	171	64.0	73.0	73.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	17.0	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	29,067	
決算規模(千円)	17,889,613	
標準財政規模(千円)	8,721,433	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	88.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	82.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.4
修正医業収益(千円)	2,006,208

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,366,160			
1 経常収益	2,366,160			
(1) 医業収益	2,109,000			
入院収益	1,303,090			
外来収益	659,932			
診療収入計	1,963,022			
その他医業収益	145,978			
(うち他会計負担金)	102,792			
(2) 医業外収益	257,160			
(うち国・都道府県補助金)	103,670			
(うち他会計補助・負担金)	80,081			
(うち長期前受金戻入)	56,524			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,514,925			
2 経常費用	2,504,414			
(1) 医業費用	2,404,756			
職員給与費	1,374,478	65.2	62.1	67.4
材料費	405,735	19.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	192,877	9.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	186,357	8.8	11.4	8.8
減価償却費	121,642	5.8	9.5	10.7
経費	498,033	23.6	22.7	29.2
(うち委託料)	298,886	14.2	12.6	13.9
研究研修費	1,756			
資産減耗費	3,112			
(2) 医業外費用	99,658			
(うち支払利息)	9,597	0.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	10,511			
損益				
経常損益	-138,254			
純損益	-148,765			
累積欠損金	376,643			
経常収支比率	94.5		101.9	100.3
医業収支比率	87.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	87.2		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,687,545
1 固定資産	1,508,136
(1) 有形固定資産	1,181,007
(2) 無形固定資産	2,263
(3) 投資その他の資産	324,866
2 流動資産	1,179,409
(1) 現金及び預金	782,960
(2) 未収金及び未収収益	379,374
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	17,075
3 繰延資産	-
負債合計	2,073,637
1 固定負債	1,383,446
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	680,761
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	699,675
(7) リース債務	3,010
2 流動負債	409,572
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	82,766
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	83,923
(6) リース債務	2,587
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	239,559
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	280,619
(1) 長期前受金	819,073
(2) 長期前受金収益化累計額()	538,454
資本合計	613,908
1 資本金	602,839
2 剰余金	11,069
(1) 資本金剰余金	105,406
(2) 利益剰余金	-94,337
負債・資本合計	2,687,545
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	182,873	182,873
資本勘定繰入	85,009	85,009
計	267,882	267,882

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	北杜市				
病院名	塩川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,228 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	54	78.3	91.1	92.0
療養	54	82.2	88.0	87.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	108	80.2	89.5	89.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	17.8	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	44,053	
決算規模(千円)	35,143,019	
標準財政規模(千円)	19,343,754	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,887,092			
1 経常収益	1,829,002			
(1) 医業収益	1,312,992			
入院収益	803,545			
外来収益	395,110			
診療収入計	1,198,655			
その他医業収益	114,337			
(うち他会計負担金)	60,773			
(2) 医業外収益	516,010			
(うち国・都道府県補助金)	6,934			
(うち他会計補助・負担金)	97,657			
(うち長期前受金戻入)	87,615			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	58,090			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,033,620			
2 経常費用	2,033,620			
(1) 医業費用	1,595,856			
職員給与費	873,821	66.6	62.1	67.4
材料費	238,576	18.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	101,749	7.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	136,759	10.4	11.4	8.8
減価償却費	161,968	12.3	9.5	10.7
経費	317,852	24.2	22.7	29.2
(うち委託料)	146,239	11.1	12.6	13.9
研究研修費	1,008			
資産減耗費	2,631			
(2) 医業外費用	437,764			
(うち支払利息)	35,677	2.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-204,618			
純損益	-146,528			
累積欠損金	-			
経常収支比率	89.9		101.9	100.3
医業収支比率	82.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	82.1		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,893,202
1 固定資産	3,629,006
(1) 有形固定資産	3,550,498
(2) 無形固定資産	593
(3) 投資その他の資産	77,915
2 流動資産	2,264,196
(1) 現金及び預金	1,303,448
(2) 未収金及び未収収益	924,442
(3) 貸倒引当金()	13,823
(4) 貯蔵品	50,127
3 繰延資産	-
負債合計	4,711,345
1 固定負債	2,361,840
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,322,715
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	39,125
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,066,937
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	724,577
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	156,673
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	180,993
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,282,568
(1) 長期前受金	4,041,962
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,759,394
資本合計	1,181,857
1 資本金	973,920
2 剰余金	207,937
(1) 資本金剰余金	165,182
(2) 利益剰余金	42,755
負債・資本合計	5,893,202
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.5
修正医業収益(千円)	1,252,219

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,430	158,430
資本勘定繰入	140,754	144,722
計	299,184	303,152

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	北杜市				
病院名	甲陽病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,220 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	17	指定病院の状況	救感輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	86	46.3	59.1	57.9
療養	32	83.0	78.3	70.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	60.2	2.8	-
計	122	56.4	62.3	59.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	16.2	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	44,053	
決算規模(千円)	35,143,019	
標準財政規模(千円)	19,343,754	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,122,859			
1 経常収益	1,677,461			
(1) 医業収益	1,309,973			
入院収益	639,910			
外来収益	551,574			
診療収入計	1,191,484			
その他医業収益	118,489			
(うち他会計負担金)	55,354			
(2) 医業外収益	367,488			
(うち国・都道府県補助金)	1,351			
(うち他会計補助・負担金)	295,383			
(うち長期前受金戻入)	65,957			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	445,398			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,689,944			
2 経常費用	1,689,944			
(1) 医業費用	1,619,289			
職員給与費	971,876	74.2	62.1	67.4
材料費	214,007	16.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	108,983	8.3	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	104,970	8.0	11.4	8.8
減価償却費	92,651	7.1	9.5	10.7
経費	326,641	24.9	22.7	29.2
(うち委託料)	167,058	12.8	12.6	13.9
研究研修費	1,490			
資産減耗費	12,624			
(2) 医業外費用	70,655			
(うち支払利息)	22,417	1.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-12,483			
純損益	432,915			
累積欠損金	45,452			
経常収支比率	99.3		101.9	100.3
医業収支比率	80.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	20.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	26.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	78.5		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,893,202
1 固定資産	3,629,006
(1) 有形固定資産	3,550,498
(2) 無形固定資産	593
(3) 投資その他の資産	77,915
2 流動資産	2,264,196
(1) 現金及び預金	1,303,448
(2) 未収金及び未収収益	924,442
(3) 貸倒引当金()	13,823
(4) 貯蔵品	50,127
3 繰延資産	-
負債合計	4,711,345
1 固定負債	2,361,840
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,322,715
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	39,125
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,066,937
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	724,577
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	156,673
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	180,993
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,282,568
(1) 長期前受金	4,041,962
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,759,394
資本合計	1,181,857
1 資本金	973,920
2 剰余金	207,937
(1) 資本金剰余金	165,182
(2) 利益剰余金	42,755
負債・資本合計	5,893,202
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.5
修正医業収益(千円)	1,254,619

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	348,980	350,737
資本勘定繰入	85,672	97,126
計	434,652	447,863

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	上野原市				
病院名	上野原市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,542 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	135	45.5	46.9	46.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	135	45.5	46.9	46.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	14.9	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	22,669	
決算規模(千円)	14,102,845	
標準財政規模(千円)	7,452,206	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	55.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.9
修正医業収益(千円)	11,988

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	391,602			
1 経常収益	391,553			
(1) 医業収益	56,937			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	56,937			
(うち他会計負担金)	44,949			
(2) 医業外収益	334,616			
(うち国・都道府県補助金)	100,000			
(うち他会計補助・負担金)	220,015			
(うち長期前受金戻入)	13,799			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	49			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	523,502			
2 経常費用	523,502			
(1) 医業費用	418,204			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	168,182	295.4	9.5	10.7
経費	249,884	438.9	22.7	29.2
(うち委託料)	200,000	351.3	12.6	13.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	138	-	-	-
(2) 医業外費用	105,298	-	-	-
(うち支払利息)	2,406	4.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-131,949			
純損益	-131,900			
累積欠損金	131,900			
経常収支比率	74.8		101.9	100.3
医業収支比率	13.6		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	67.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	465.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	67.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	24.2		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,741,589
1 固定資産	2,441,601
(1) 有形固定資産	2,416,699
(2) 無形固定資産	1,301
(3) 投資その他の資産	23,601
2 流動資産	299,988
(1) 現金及び預金	298,396
(2) 未収金及び未収収益	1,592
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,517,176
1 固定負債	879,663
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	879,663
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	101,712
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	100,795
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	545
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	535,801
(1) 長期前受金	882,882
(2) 長期前受金収益化累計額()	347,081
資本合計	1,224,413
1 資本金	1,334,152
2 剰余金	-109,739
(1) 資本金剰余金	14,061
(2) 利益剰余金	-123,800
負債・資本合計	2,741,589
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	264,964	264,964
資本勘定繰入	58,413	58,413
計	323,377	323,377

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	231.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	甲州市				
病院名	勝沼病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,991 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	51	51.0	51.8	62.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	51	51.0	51.8	62.6
平均在院日数(一般病床のみ)		47.8	34.4	31.9

設立団体の状況		
人口(人)	29,237	
決算規模(千円)	20,926,157	
標準財政規模(千円)	10,292,608	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.4
	将来負担比率(%)	114.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,455			
1 経常収益	17,455			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	17,455			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	10,861			
(うち長期前受金戻入)	6,594			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,232			
2 経常費用	17,232			
(1) 医業費用	15,958			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	13,978	-	9.5	11.7
経費	1,980	-	22.7	31.2
(うち委託料)	-	-	12.6	14.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,274			
(うち支払利息)	954	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	223			
純損益	223			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.3		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	62.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	62.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	38.3		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	523,441
1 固定資産	460,928
(1) 有形固定資産	394,624
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	66,304
2 流動資産	62,513
(1) 現金及び預金	60,677
(2) 未収金及び未収収益	1,836
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	80,995
1 固定負債	30,604
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,604
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,570
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,570
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	46,821
(1) 長期前受金	98,932
(2) 長期前受金収益化累計額()	52,111
資本合計	442,446
1 資本金	354,507
2 剰余金	87,939
(1) 資本金剰余金	66,305
(2) 利益剰余金	21,634
負債・資本合計	523,441
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	7,968	10,861
資本勘定繰入	6,746	6,746
計	14,714	17,607

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				山梨県
市町村・組合名	身延町早川町国民健康保険病院一部組合			
病院名	飯富病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	6,995 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨へ輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	61	56.3	56.2	81.0
療養	26	90.7	84.3	90.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	66.6	64.6	83.9
平均在院日数(一般病床のみ)		23.1	21.9	26.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.6
修正医業収益(千円)	1,098,990

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,698,921			
1 経常収益	1,696,771			
(1) 医業収益	1,098,990			
入院収益	649,336			
外来収益	421,201			
診療収入計	1,070,537			
その他医業収益	28,453			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	597,781			
(うち国・都道府県補助金)	149,737			
(うち他会計補助・負担金)	85,254			
(うち長期前受金戻入)	26,718			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,150			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,730,780			
2 経常費用	1,728,630			
(1) 医業費用	1,284,005			
職員給与費	673,501	61.3	62.1	78.9
材料費	238,761	21.7	25.3	15.6
(うち薬品費)	129,723	11.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	92,795	8.4	11.4	6.0
減価償却費	119,631	10.9	9.5	11.7
経費	245,016	22.3	22.7	31.2
(うち委託料)	61,451	5.6	12.6	14.3
研究研修費	1,098			
資産減耗費	5,998			
(2) 医業外費用	444,625			
(うち支払利息)	15,367	1.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	2,150			
損益				
経常損益	-31,859			
純損益	-31,859			
累積欠損金	232,403			
経常収支比率	98.2		101.9	100.3
医業収支比率	85.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	5.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	93.2		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,371,224
1 固定資産	2,445,343
(1) 有形固定資産	2,423,312
(2) 無形固定資産	491
(3) 投資その他の資産	21,540
2 流動資産	925,881
(1) 現金及び預金	402,541
(2) 未収金及び未収収益	247,493
(3) 貸倒引当金()	6,971
(4) 貯蔵品	6,045
3 繰延資産	-
負債合計	1,196,281
1 固定負債	379,606
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	371,864
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	7,742
2 流動負債	465,473
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	81,321
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	66,200
(6) リース債務	3,432
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,535
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	351,202
(1) 長期前受金	1,007,249
(2) 長期前受金収益化累計額()	656,047
資本合計	2,174,943
1 資本金	2,401,598
2 剰余金	-226,655
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-226,655
負債・資本合計	3,371,224
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	223,193	85,254
資本勘定繰入	31,635	31,635
計	254,828	116,889

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	峡南医療センター企業団				
病院名	市川三郷病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,842 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	90	25.1	31.6	29.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	25.1	31.6	29.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	23.8	18.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.4
修正医業収益(千円)	903,651

損益計算書(千円%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,481,483			
1 経常収益	1,481,483			
(1) 医業収益	903,651			
入院収益	242,405			
外来収益	633,121			
診療収入計	875,526			
その他医業収益	28,125			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	577,832			
(うち国・都道府県補助金)	26,828			
(うち他会計補助・負担金)	166,521			
(うち長期前受金戻入)	61,072			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,546,443			
2 経常費用	1,546,443			
(1) 医業費用	1,124,517			
職員給与費	630,546	69.8	62.1	78.9
材料費	173,484	19.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	110,757	12.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	62,696	6.9	11.4	6.0
減価償却費	61,738	6.8	9.5	11.7
経費	257,628	28.5	22.7	31.2
(うち委託料)	154,596	17.1	12.6	14.3
研究研修費	1,121			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	421,926			
(うち支払利息)	3,781	0.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-64,960			
純損益	-64,960			
累積欠損金	834,527			
経常収支比率	95.8		101.9	100.3
医業収支比率	80.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	18.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	85.0		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円%)	
区分	決算額
資産合計	3,327,183
1 固定資産	1,952,652
(1) 有形固定資産	1,834,737
(2) 無形固定資産	70,066
(3) 投資その他の資産	47,849
2 流動資産	1,374,531
(1) 現金及び預金	393,951
(2) 未収金及び未収収益	947,752
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	32,828
3 繰延資産	-
負債合計	3,030,324
1 固定負債	1,491,580
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	850,959
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	526,818
(6) 引当金	113,307
(7) リース債務	496
2 流動負債	988,019
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	150,917
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	11,608
(5) 引当金	156,390
(6) リース債務	297
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	344,621
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	550,725
(1) 長期前受金	1,923,275
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,372,550
資本合計	296,859
1 資本金	333,008
2 剰余金	-36,149
(1) 資本金剰余金	380,034
(2) 利益剰余金	-416,183
負債・資本合計	3,327,183
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	189,361	166,521
資本勘定繰入	14,140	95,488
計	203,501	262,009

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	77,627	2.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	峡南医療センター企業団				
病院名	富士川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	12,893 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	154	61.3	73.0	72.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	45.1	1.0	-
計	158	60.9	71.1	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	15.2	14.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.1
修正医業収益(千円)	2,216,499

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,494,081			
1 経常収益	3,494,081			
(1) 医業収益	2,216,499			
入院収益	1,381,651			
外来収益	622,396			
診療収入計	2,004,047			
その他医業収益	212,452			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,277,582			
(うち国・都道府県補助金)	507,853			
(うち他会計補助・負担金)	243,340			
(うち長期前受金戻入)	54,996			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,096,675			
2 経常費用	3,096,675			
(1) 医業費用	2,434,095			
職員給与費	1,389,412	62.7	62.1	67.4
材料費	429,947	19.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	195,268	8.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	234,679	10.6	11.4	8.8
減価償却費	58,628	2.6	9.5	10.7
経費	554,198	25.0	22.7	29.2
(うち委託料)	270,063	12.2	12.6	13.9
研究研修費	1,910			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	662,580			
(うち支払利息)	790	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	397,406			
純損益	397,406			
累積欠損金	-			
経常収支比率	112.8		101.9	100.3
医業収支比率	91.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	105.0		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,327,183
1 固定資産	1,952,652
(1) 有形固定資産	1,834,737
(2) 無形固定資産	70,066
(3) 投資その他の資産	47,849
2 流動資産	1,374,531
(1) 現金及び預金	393,951
(2) 未収金及び未収収益	947,752
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	32,828
3 繰延資産	-
負債合計	3,030,324
1 固定負債	1,491,580
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	850,959
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	526,818
(6) 引当金	113,307
(7) リース債務	496
2 流動負債	988,019
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	150,917
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	11,608
(5) 引当金	156,390
(6) リース債務	297
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	344,621
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	550,725
(1) 長期前受金	1,923,275
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,372,550
資本合計	296,859
1 資本金	333,008
2 剰余金	-36,149
(1) 資本金剰余金	380,034
(2) 利益剰余金	-416,183
負債・資本合計	3,327,183
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	343,278	243,340
資本勘定繰入	24,667	57,213
計	367,945	300,553

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	77,627	2.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。